

工学部イベントのご案内

公開講座

地球に優しい先端機能高分子材料
～共生応用化学科の研究紹介～

11/1(日) 13:00～16:00
工学部17号棟113講義室

共生応用
化学科

地球環境に適応した高分子材料の設計・作製・実用化に関して、共生応用化学科での材料開発事例を中心に解説します。

13:00～14:20

斎藤 恭一

緊急に応える材料設計： 福島第一原発汚染水処理に用いる吸着繊維の開発

福島第一原発から周囲の水に漏れ出た放射性のセシウムやストロンチウムを除去できる材料が喫緊になりました。「確実に、簡便に、そして安全に」除染作業を実施できる繊維状の吸着材が千葉大学の学生によって開発され、原発の汚染水処理に活躍中です。その開発の経緯を紹介します。

14:40～16:00

桑折 道済

生物に学ぶ材料設計： 構造色を用いる環境適応型な色材の開発

生物は進化の過程で、常温常圧で複雑な構造をいとも簡単に形成し、省エネルギーで高効率に機能する形状を生み出す能力を獲得しました。このような自然に学ぶ環境適応型な材料開発について、光の干渉や散乱で色が出る構造色材料を例とし、その特徴と最新の研究動向について紹介します。

模擬講義

11/1(日) 10:45～13:30
工学部 9号棟107講義室

10:45～11:15 医療を変えるバーチャルリアリティ技術

中口 俊哉

メディカル
システム
工学科

近年一般でも身近になってきているバーチャルリアリティ(VR)技術は治療・診断だけでなく、医師の教育・訓練の分野においても活用が期待されています。バーチャルリアリティの関連技術である、拡張現実感(AR)技術も医療分野への応用が進んでいます。ヒト(患者)とコンピュータが生成する情報を高度に融合することで、より安全な医療を実現し、またより現実に近い訓練ができると考えられています。以上の内容を、事例紹介を中心にわかりやすく説明します。

11:30～12:00 体験を通して学ぶデザイン

寺内 文雄

デザイン
学科

製品を構成する様々な材料を対象に、それらの特性を「体験しながら学ぶ」形式で講義を行います。体験したことに基づいて、それらの材料を用いたデザインの具体的な方法について考えてみます。

13:00～13:30 ヒトとメカトロニクスと医療技術

川村 和也

メディカル
システム
工学科

ヒトを治療するための技術は日々進歩しています。より患者の負担を減らすなどの技術向上に向け、メディカルシステム工学科では、工学の立場から様々な研究・開発を進めています。本日は、その一部としてロボット技術に焦点を当てた紹介をするとともに、どんな知識を日々学んでいるのかを体験してもらいます。

2015.10.31(Sat)～11.1(Sun)

千葉大学



第
53
回

工学部祭

於：千葉大学西千葉キャンパス

<http://www.eng.chiba-u.jp>